



# 修了生の 声

# Voice



救急看護認定看護師

救急看護認定看護師教育課程

2020 年度研修生

## 受講の動機

当院は二次救急医療機関ですが、超急性期患者も搬送されます。日々の看護の中で、幅広い知識と技術の必要性を感じ自己研鑽をしてきましたが、習得した知識を臨床でどのように活用すべきなのか悩みました。そこで、経験知だけでなく、専門性をさらに追求することは、日々の行動の意味づけ、さらには組織における看護の質の向上が図れるのではないかと考え、受講を決めました。

## 研修を受講した感想

7 ヶ月間は課題に追われる日々でしたが充実していました。生体侵襲のメカニズムを細胞レベルまで掘り下げて理解し、治療や看護の重要性を学習しました。また対象観や教材観の詳細な分析を行うことで、効果的な成人教育も学習できました。実習では、患者を全人的に捉えることで、看護目標を明確にしました。患者を観る、理解するなど看護実践の本質的な意味を理解できたように思います。

## 現在の活動・課題

現在は救急推進チームに所属し BLS・ICLS コースなどを企画、運営しています。学習会は回を重ねていますが活動の成果を可視化することまではできていません。活動が救命率の向上にどのような変化があるのかを可視化することで、当院の目指すべき姿に近づけられるような効果的な活動を充実させていくことが今後の課題です。また専門・認定看護師が中心となる次世代育成プログラムの計画にも携わっています。

## 今後の目標

研修で学んだ救急技術指導を活かし、急変対応や IHCA に至るまでの気づきにおいて分析を始めました。当院は RRT・MET などのセーフティーネットはありません。患者の入院生活の安全を守り、急変させないための RRT の代替えになるシステムの構築など当院でもできる患者の安全を守る取り組みを実践していきたいと考えています。

